

取扱説明書



PBX 内線用電話機
NS-W03WP 電話機
(壁掛け専用防滴電話機)

〔技術基準適合品〕

このたびはお買い求めいただき、ありがとうございました。

取扱説明書をお読みいただき、お使いください。

この「説明書」には、操作方法とあなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を記載しています。

よくお読みの上、内容を理解してからお使いください。お読みになった後も、本商品のそばなどいつもお手元においてお使いください。

特		長	
		○：機能有り －：機能無し	
機能名	機能説明	製品のタイプ (*1)	
		A	B
ワンタッチボタン(*2)	ワンタッチボタンを押すと予め設定したダイヤル(1桁)を送出します。	－	○
着信音量	軽やかな電子音で2段階の音量を選択できます。	○	○
ハンドセット受話音量	2段階で受話音量を選択できます。	○	○
着信ランプ表示	着信をランプ(赤)で表示します。	○	○
メッセージランプ表示	メッセージがあることをランプ(赤)で通知します。	○	○
防滴	IPX2(防滴Ⅱ型)の防滴性があります。	○	○

(*1) タイプA：NS-W03WP-A タイプB：NS-W03WP-B

(※2) ワンタッチボタンはPBX内線電話機として収容する場合のみご使用ください。

本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規則並びに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。








F-6063-2
923063A2

仕

様

項 目	仕 様	備 考
回線種別	PB／DP（20PPS）切替式（PBX 収容時）	タイプBのみ
直流抵抗	約 290 Ω	
質 量	約 0.32kg	ブラケット含む
寸 法	幅 98mm × 高さ 226mm × 奥行 44mm	ブラケット収納時
使用電源	局／PBX	
防水規格	IPX2（防滴Ⅱ型）相当 鉛直から 15° の範囲で滴下する水に対して保護	ブラケット収納時 （壁掛け設置状態）

下表のものが添付されていることを確認してください。

No	品名	数量	備考
1	取扱説明書	1 部	本説明書
2	φ 3.8 × 16 木ネジ 	2 本	ブラケット取付用（木壁）
3	φ 4 × 40S ナベネジ 	2 本	ブラケット取付用（JIS-BOX 等）
4	φ 2.6 × 8 ナベネジ 	2 本	スイッチカバー用
5	φ 3 × 8 ナベネジ 	1 本	ハンドセットコード固定用
6	ネジ隠しシート 	1 式	2 種類（ブラケット用）
7	スイッチカバー 	1 個	
8	端子台カバー 	1 個	ブラケットの端子台用

工事される方へ

- 本電話機は、PBX内線電話機としてご使用ください。公衆回線に接続して使用する場合、ワンタッチボタンの設定は初期設定とし、ダイヤル機能を使用しないでください。
- ハンドセットにある“PB / DP” 切替スイッチで、回線種別を替えることができます。
(出荷時はPBに設定してあります。)
- メッセージランプ機能を使用する場合、ハンドセットコードの極性にご注意ください。赤線をPBXのメッセージジェネティング信号のプラス極、黒線をマイナス極に接続してください。
- ボタン電話回線に誤接続すると電話機が故障する場合があります。
- 2台接続した場合、回線の条件によって、ランチ接続された電話機でダイヤルしたり、この電話機からダイヤルを送出するとこの電話機のベルが鳴ることがあります。その際は、“着信感度” 切替スイッチをONにしてください。
- ランチ接続してメッセージランプ機能を使用する場合、1 回線に 1 台までとなりますので、どちらかの電話機の機能をOFFとしてください。
- 本電話機は、平らな堅い壁に設置してください。段差のある壁に設置する場合、± 2mm の段差以内としてください。



安全にお使いいただくために必ずお守りください



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

電話機の異常状態にお気づきのときは、すぐに電話機コードを抜き、販売店に修理をご依頼ください。

- ① 電話機に水が入ったり、ぬらさぬようにご注意ください。火災・感電・故障の原因となります。
- ② 電話機の上やそばに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水のいった容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。
- ③ 電話機を調理台やふろ場など油飛びや水が直接かかるような場所、湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
- ④ 電話機を絶対に分解・改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- ⑤ 煙の発生、異臭がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。
- ⑥ 落下等で破損したままで使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。



注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

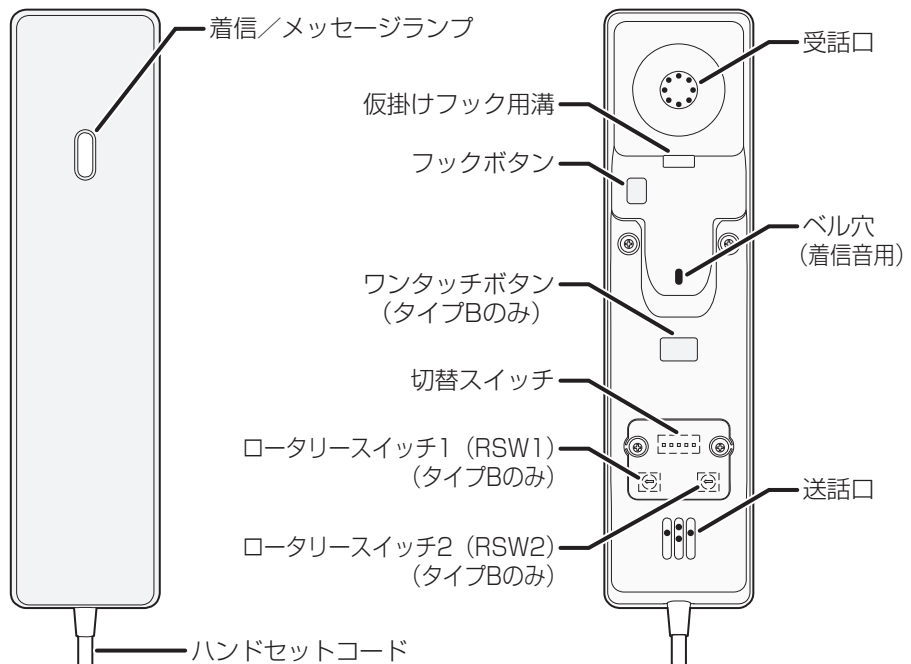
- ① 電話機を壁掛用に取り付ける場合は、電話機の高さにより落下しないよう堅固に取り付け、設置してください。落下してけが・破損・故障の原因となることがあります。
(薄いベニヤ板や、やわらかい壁などに取り付けしないでください。)
- ② 電話機を熱器具に近づけないでください。電話機コードの被覆が溶けて、火災・感電・故障の原因となることがあります。
- ③ 電話機を直射日光の当たるところや、暖房設備・ボイラーなどのためにいちじるしく温度が上昇するところに置かないでください。内部の温度が上がると、火災・感電・故障の原因となることがあります。

おねがい

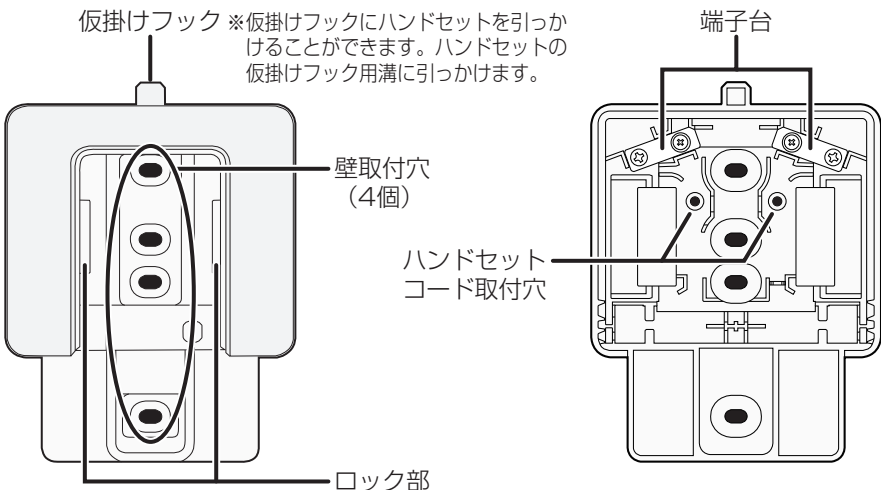
誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

- ① 電話機は、次のような場所への設置は避けてください。故障・誤動作の原因となります。
- ・ ちり・ほこり・鉄粉・有毒ガスなどが発生する場所。
 - ・ 製氷倉庫など、特に温度が下がる場所。
- ② テレビ・ラジオ・電気こたつ・蛍光灯・アンプ・スピーカボックス・電子レンジ・電気カーペットの上や、家庭電化製品のそばなどで磁気を帯びている場所や電磁波が発生している場所及び高周波ウェルダや電気溶接機の近く。やむをえず設置する場合は、最低2m以上離してください。
- ・ 衝撃・振動のある場所。
- ③ 机や椅子で電話機コードを踏みつけたりすると電話機が使えなくなるなどの障害が発生するので、机の移動などには十分注意してください。万一、障害が発生した場合は販売店までご連絡ください。
- ④ 硫化水素の発生する場所（温泉地など）や塩分の多いところ（海岸など）でお使いのときは、電話機の寿命が短くなることがあります。
- ⑤ 電話機を落としたり、強い衝撃及び振動を与えないでください。故障・誤動作の原因となります。
- ⑥ 道路に近くてCB無線が混入する場合、または放送局のアンテナに近くて雑音が混入する場合は、販売店にご相談ください。
- ⑦ 電話機をベンジン・シンナー・アルコール・石油・熱湯などで絶対にふかないでください。変色や故障の原因となります。布等でからぶきしてください。

各部の名称



[ハンドセット]



[ブラケット]

使用上の注意

- 共同電話・公衆電話にはご使用になれません。
- ダイヤルしたとき、ブランチ接続した他の電話機のベル音が鳴ることがありますが、故障ではありません。
- 通話しないときは、ハンドセットを確実にブラケットに掛けてください。かけ忘れたり、ハンドセットの下にコードや物がはさまっていると、通話料金が加算されたり、着信があってもベルが鳴らず、他の通話のさまたげとなりますことがあります。
- 本電話機と他の電話機とでブランチ通話のときは、電話機の種類や電話局からの距離によって通話ができなくなることがあります。その際は片方のハンドセットをおろしてください。通話ができるようになります。
- ハンドセットの送話口は口の正面にくるように持ってご使用ください。

防滴に関する注意事項

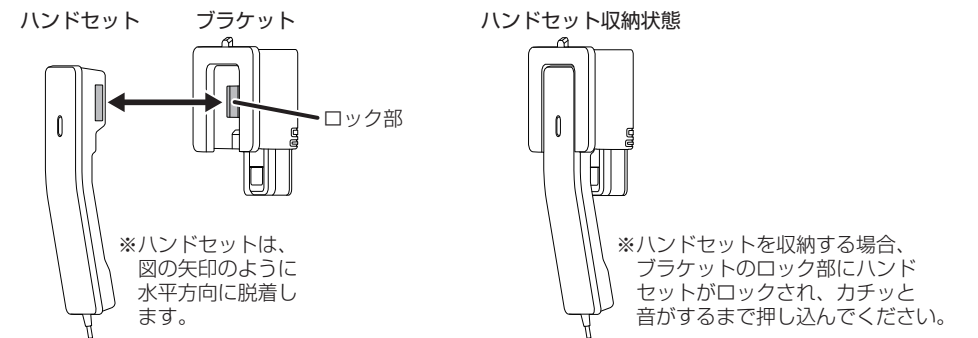
- 本電話機は壁掛け状態での防滴規格を満足したものであり、耐水压設計ではありません。
- 電話機本体の防滴性能は、真水・水道水にのみ対応しています。以下の例のような液体をかけたりしないでください。(例：せっけん・シャンプー・洗剤・入浴剤などの入った水／海水／プールの水／温泉／熱湯／薬品)
- できるだけ水にぬれないようご使用いただき、もし水でぬれたあとは、乾いた清潔な布で電話機の水滴を拭き取ってください。ドライヤーなどの熱風で乾かささないでください。
- サウナで使用しないでください。
- シャワーや蛇口の近くでの使用は、故障の原因となりますので避けてください。
- 送話口、受話口、ベル部の穴に先端の尖ったもので突いたりしないでください。(内部の防水シートが傷つき、防滴性能を損ない、故障の原因となります。また防水シートが傷つきますと通話に支障をきたすことがあります。)
- 送話口、受話口が水にぬれますと、通話に支障をきたす場合があります。ティッシュペーパーなどで、やさしく拭き取ってください。

電話をかけるとき（タイプBのみ）

- ①ハンドセットをとり、発信音（ツーンなど）を確認してからワンタッチボタンを押します。
- ②相手が出たら、お話しください。
 - ダイヤルは予め設定しておいた1桁が送出されますので、ホテル等の内線電話機としてご使用いただくと、フロント等呼び出すのに便利です。
 - ダイヤル機能はPBX内線電話機として収容する場合のみ、ご使用ください。

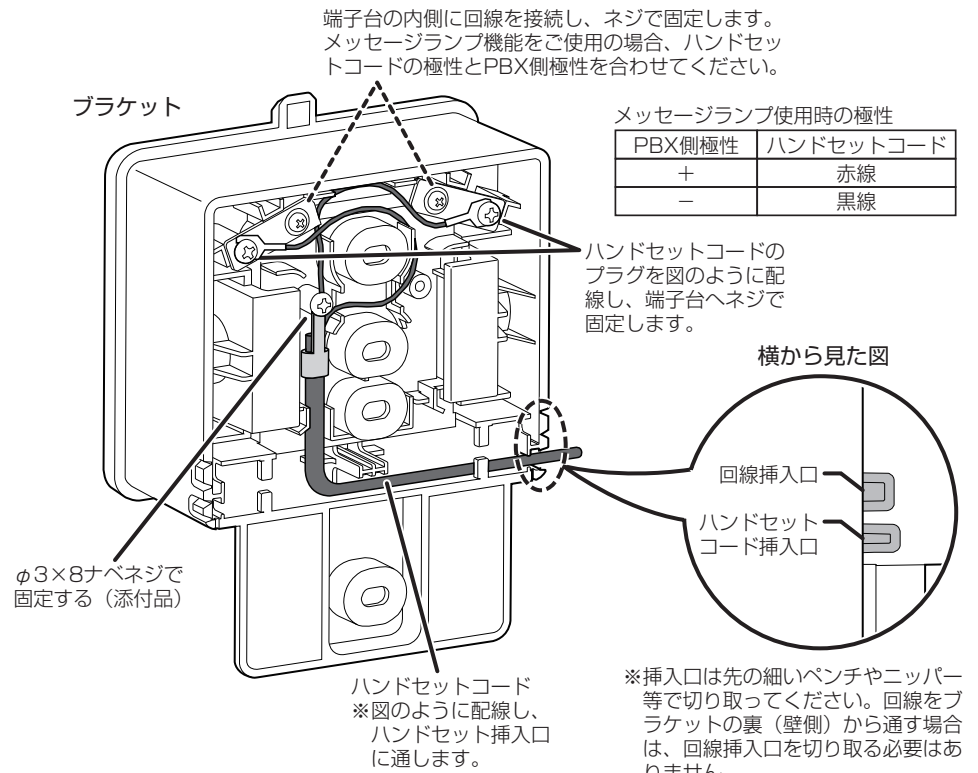
電話がかかってきたとき

外から電話がかかってくると“ルルル……”という着信音が聞こえます。ハンドセットをとってお話しください。

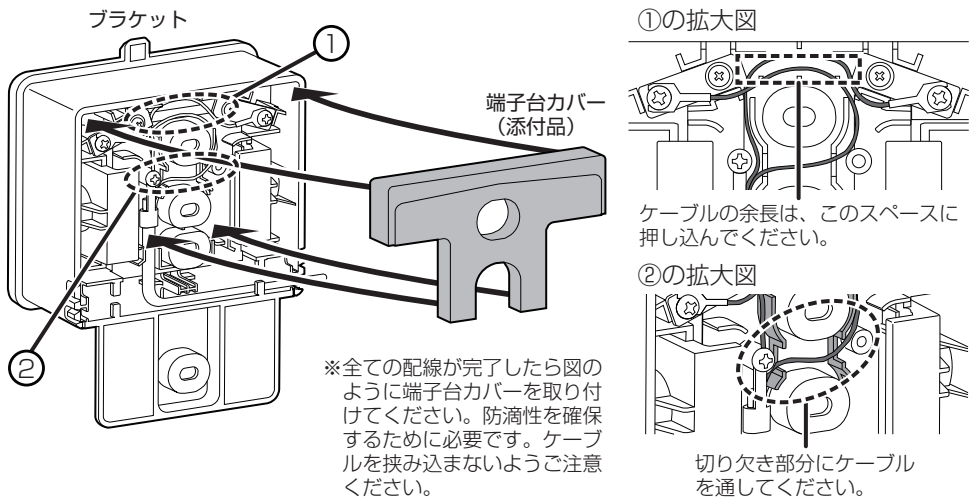


ケーブルの接続方法

1. ケーブルの配線方法



2. 端子台カバーの取付方法



各種切替スイッチの設定方法

①切替スイッチを用途や設置環境に合わせて設定してください。

切替スイッチ対応表

切替スイッチ	1 2 3 4 5	スイッチ位置	1	2	3	4 (注)	5
			メッセージランプ機能	着信音量切替	着信感度切替	PB/DP切替	受話音量切替
		上側	機能有り	大 ☆	ON	DP	大
		下側	機能無し ☆	小	OFF ☆	PB ☆	標準 ☆

☆：初期設定

(注) PB/DP切替はタイプBのみ適用

②ワンタッチボタンの設定をロータリースwitchで行います。(タイプBをPBX収容時のみ)

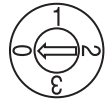
ロータリースwitch対応表

RSW1 \ RSW2	3	2	1	0 ☆
0 ☆	①	②	③	—
1	④	⑤	⑥	—
2	⑦	⑧	⑨	—
3	⑩	⑪	⑫	—

—：機能しない

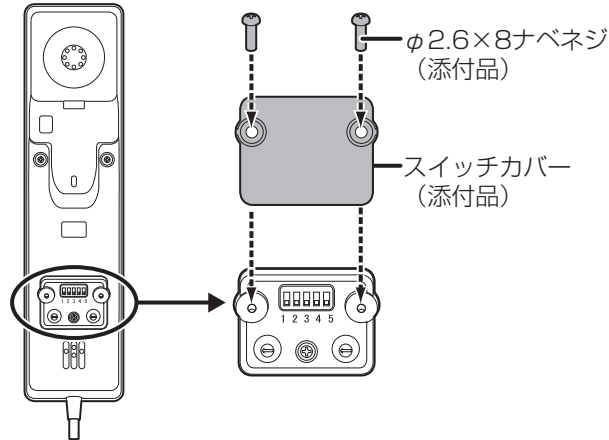
☆：初期設定

ロータリースwitch



※左の対応表のようにRSW1、RSW2を回して0～3に設定します。

③設定完了後にスイッチカバー（添付品）をφ2.6×8ナベネジ（添付品）でしっかりと取り付けます。



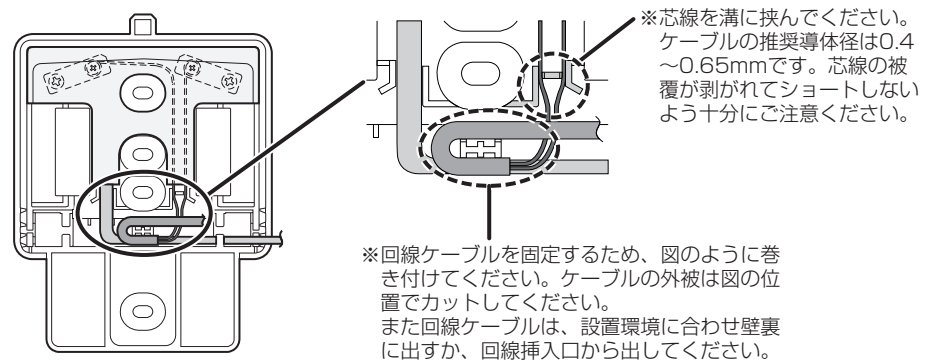
【ご注意】

- 回線に接続する前に各種スイッチの設定を行ってください。
- ロータリースwitchの設定は、先端が2mmのマイナスドライバーをご使用ください。
- 回線がDPの場合は⑩、⑪は設定しないでください。
- 公衆回線に接続して使用する場合、ロータリースwitchは初期設定でご使用ください。
- スイッチカバーを着脱する場合は、水滴や異物がスイッチカバー上やネジ部になことを確認してから行ってください。万一滴や異物がある場合は、やわらかい布などで取り除いてください。

ケーブルの接続方法（つづき）

3. 回線ケーブルの配線方法の例

端子台カバー取付後の図

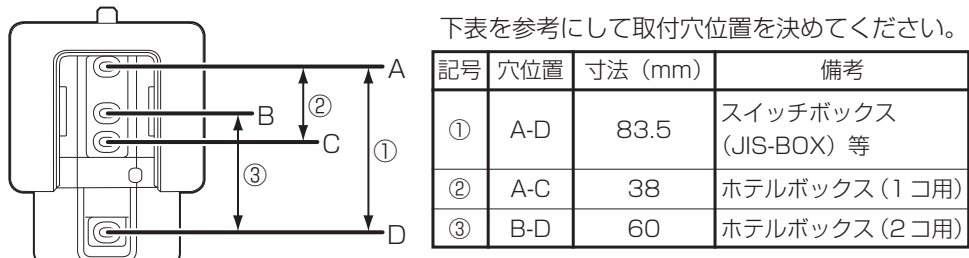


ブラケットの取り付け方法

①壁に取り付ける場合は、φ3.8×16木ネジ（添付品）でぐらつかない様、垂直にしっかりと固定してください。また、スイッチボックスに取り付ける場合はφ4×40Sナベネジ（添付品）で固定してください。

【ご注意】

- ネジを強く締めすぎると変形し、電話機が取り付けられなくなります。
- ブラケットと壁との隙間が大きい場合は、ネジが確実に取り付けられているか再確認してください。



②ネジ隠しシート（添付品）をしっかりと貼り付けます。

